

Q 高齢化による介護サービスの現状と今後は

A 一体的な地域包括ケア体制づくりを今から進める

柴山 恭子 議員

- 質問項目
- 1 介護について
 - 2 教育について



や地域密着型介護サービスの利用が低い。入所待ちもあり、50床を増設中とのことだが、なぜ施設利用が多いのか。施設利用の基準と今後の方向性については。

A 現状として、在宅サービスに比べ施設サービスへの依存度が高く、さらに要介護1〜3の比較的軽度者の介護系施設サービスの利用が多い。

Q 平成24年度、介護サービス利用者には2439人で、給付費総額は47億1200万円に上る。50%が40歳以上の保険料での負担であり、今後給付が増えれば保険料にはね返ることになる。朝倉市は近隣市町村に比べて施設介護が多く、在宅介護

後期高齢者の割合が高く、また、認定介護度は要介護3以上の中重度の割合が高い。独居高齢者や高齢者のみの夫婦世帯が増加し、老介護も多く見られ、家庭での介護力の低下で在宅生活維持することが難しくなり施設サービスへの利用が

高くなると思われる。入所基準は、要介護4・5の重度の方が中心である。今後、医療や介護の需要の増加が見込まれ、国も「施設病院から地域住宅へ」という流れになっている。

増加する高齢者を地域や家庭で支え、住み慣れた地域で生活するための住まい、医療、介護、予防、生活支援、介護予防などを一体的に提供する地域包括ケア体制づくりを今から進めていく。



50床を増設中施設を造り続けられるか

Q 障害者雇用促進法で、民間団体や国、地方公共団

A 平成25年6月1日現在、嘱託職員も含めて、市長部局が2・56%、教育委員会部局が3・53%で達成している。

Q 嘱託職員は3年契約であり、身分が不安定で、自立して生活するための就労の目的は達せられていないのではないか。平成26年度採用の職員採用試験では、障がい者枠が設けられたか。



平田 倂子 議員

- 質問項目
- 1 土砂災害防止法による特別警戒・警戒区域指定と今後について
 - 2 朝倉市職員の障がい者雇用について
 - 3 子ども・子育て支援法における市の関与に関する考え方について
 - 4 学校にいきづらい児童・生徒を少なくするために

Q 嘱託職員は3年契約であり、身分が不安定で、自立して生活するための就労の目的は達せられていないのではないか。平成26年度採用の職員採用試験では、障がい者枠が設けられたか。

A 嘱託職員については枠を設け任用をしているが、職員採用試験では、障がい者枠を設けなかった。

Q 合格できるかできないかの前に、職員採用試験でも障がい者枠を設けてほしい。

A 平成18年度、平成21年度、及び平成22年度には実施した。障がい者枠は今後広げていくべきだ。また、

市役所の中で障がい者の適性や能力に応じてどんな業務ができるのかという分野も、広く切り開いていく必要があると考えます。

Q 障がい者を雇用することで、施設面で改善したところはありますか。

A 最近2階から5階までの男子トイレの小便器に手すりを付けた。

Q 障がいがあっても自立をすることが、当事者の願いである。

A 市役所が率先してやっていくことで、民間事業所も認識を改めて持っていただけだと思う。



緩やかなスロープと音声誘導装置を付けた市役所北玄関

Q 障がい者の法定雇用率は達成しているか

A 嘱託職員も含めて今年度は達成している

Q 市長として再度市政を担っていく意思は

A 次期市長選挙に立候補したい

稲富 一實 議員

質問項目

- 1 朝倉市水道事業の運営について
- 2 朝倉市の今後の行政施策について



Q 市長は平成22年4月に当選され、さまざまな事業に取り組んでこられた。マニフェストの達成状況の総括を問う。

A 日本一のふるさと朝倉構想を掲げ、7つのビジョンの実現に向けて取り組んできた。議員の皆様を初め、

市民の皆様との議論を重ね、ご指導いただきながら市政を担当してきた。一定の成果は上がったと考えている。

Q 市長に就任して3年8ヶ月になるが、その間に取り組めなかった事業もあるのか。

A 就任前からの継続事業への取り組みなど、まだまだ課題は山積しているが、今日まで私なりに精いっぱい努めてきた。

Q 継続事業も多々あり、森田市長の「親と子と孫が一緒に暮らせるまちづくり」も道半ばではないのか。残された多くの重要な行政課題や、これからの朝倉市を鑑みて、再度市政を担っていく意思があるのか。

A 私の任期は来年の4月までだが、様々な問題が残されている。私自身として

は、次期市長選挙に立候補させていきたい。市民の皆様方の賛同が得られれば、引き続き市政運営を担わせていただきたい。今まで解決できなかった問題の前に進めていきたい。

Q 2期目を目指す中で、その政策を尋ねる。

A この朝倉市を、責任を持って次の世代に引き渡していくことが今を生きる我々の責任だと思う。将来を担う子どもたちが、誇りを持って朝倉の地に住み続けてもらえるようにすることがあらゆる政策の基本になる。



親と子と孫が一緒に暮らせるまちづくり

Q 杷木のバサロの売上実績が1800万円、三連水車の里は4000万円落ちている中、パン工房やレス

トランが閉鎖されている。6月議会から改善の提言をしてきたが、今後如何に取り組むのか。

A バサロのパン工房は11



実藤 輝夫 議員

質問項目

- 1 地域活性化のための施策

月の取締役会でテナントを募集する方向で、三連水車の里は赤字解消を視野に経営改善に取り組みたい。

Q 朝倉にある文化財の「隠れ家の森」を保護管理していこうという動きを端緒に、重要文化財や史跡等の保護管理は地域と教育現場が連携していくべきだと考えるが、教育委員会の見解は。

A 近年は必ずしも朝倉近辺の教職員だけではない状況だから、初任者の研修を通して地域の方々のご協力をいただいている。子どもたちが具体的なものを体験し、ふるさとの自然・歴史・文化・遺跡等に対する理解を深め、これを大切にしていこう心を育て、保存、継承発展させていきたい。

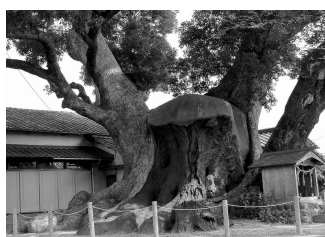
Q 以前には西鉄バス停を

西鉄電車周辺にという話が あったということだが、市長はどう考えるか。

A 市に2つの交通起点があってもいいと答弁したことはあるが、そこにバスセンターという考えは持っていない。

Q これまで西鉄との折衝や内容も不明で、西鉄側の回答もゼロ。前に進んでいない。

A 西鉄の副社長と会ったのはこれまで1回だが、しかるべき時期に報告したい。市が全ての土地を購入して主体的にやることはない。



1500年の樹齢 隠れ家の森

Q バサロ、三連水車の里の現状と今後の対策は

A 売上実績回復のため、内容改善に取り組みたい